

# ユニック作業時 挟まれ

ユニック作業時は、吊り荷の重さの確認をしましょう

地盤の水平確認、「敷き板」の設置

両サイドの「アウトリガー」の張り出しを確実に

周囲の安全確認と、『逃げ場』の確保

## ユニック作業時、ユニック車傾き ユニック車とコンクリートの塀の間に挟まれ

### 42歳の男性が意識不明の重体

2026/4/3(金) 19:56

3日午後4時30分すぎ、新潟県で会社員の男性（42）がユニック車とコンクリート塀に挟まれる作業事故がありました。

男性は自宅前で油圧ショベルを吊り上げた状態のユニック車とコンクリートの塀に上半身から頭にかけて挟まれた状態で発見されたということです。

ユニック車は当時止まっていたましたが、油圧ショベルの重みで傾き、コンクリートの塀との間に男性が挟まれたとみられています。

発見当時、男性に意識はなく、病院に救急搬送されました。男性は意識不明の重体だということです。

警察は男性が1人で作業していたとみて事故の原因を調べています。